



編集・発行／埼玉県議会事務局  
©2021 埼玉県

〒330-9301  
埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1  
電話 048(830)6257  
FAX 048(830)4923

「埼玉県議会」ホームページはこちら▶



## 主な内容

### 1面

- ◆議長あいさつ
- ◆2月定例会の動き
- ◆2月定例会の議決の概要
- ◆4月臨時会の概要

### 2・3面

- ◆代表質問・一般質問

### 4・5面

- ◆予算特別委員会
  - ◆主な質疑と答弁
  - ◆令和3年度一般会計予算の概要

### 6・7面

- ◆委員会リポート
- ◆意見書・決議
- ◆主要会派から

### 8面

- ◆「埼玉県エスカレーター」の安全な利用の促進に関する条例」を可決
- ◆新たな委員会構成
- ◆県議会クイズ **プレゼント付き!**

**題字** 埼玉県立伊奈学園総合高等学校 3年生  
小松 梨乃 様

**表紙写真** 第16回埼玉県議会フォトコンテスト モバイル部門入選「本を読む ふたりに読む」  
撮影者：林 弘樹 様 撮影場所：大宮図書館



右記のQRコードを読み込み、アプリ「COCOAR」をダウンロードして、上の写真にスマートフォンをかざすと、フォトコンテストの他の入賞作品をご覧になれます。  
QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。iPhoneはApple Inc.の商標または登録商標です。AndroidはGoogle Inc.の商標または登録商標です。

iPhone用



Android用



県議会マスコット「ポッポ」



## 2月定例会の動き

2月19日(金)から3月26日(金)までの36日間にわたり開かれました。

### 2月19日 開会日

知事提出議案について、知事から提案説明が行われました。

### 2月26日・3月1日 代表質問

### 3月2日・3日・4日 一般質問

代表質問では会派を代表して4人の議員が、一般質問では9人の議員が質疑・質問を行い、活発な論議がなされました。(2・3面)

2月26日には、知事追加提出議案について知事から提案説明などが行われました。また、急施議案について常任委員会で審査が行われました。急施議案については、3月2日、委員長報告があり、それを受けて採決が行われました。

### 3月8日 常任委員会

補正予算・条例などの議案の審査などが行われました。(6面)

### 3月10日 特別委員会

付託案件の審査が行われました。  
※予算特別委員会を除く(6面)

### 3月11日・12日・15日 予算特別委員会 ～17日・19日・23日

当初予算案などについて、集中的な審査が行われました。(4・5面)

### 3月25日 委員長報告

知事追加提出議案について知事から提案説明があり、予算特別委員会で審査が行われました。

### 3月26日 閉会日

各委員会の委員長報告を受けて採決が行われました。

第124代埼玉県議会議長に就任いたしました木下高志です。誠に身に余る光栄であり、心より感謝申し上げますとともに、その職責の重さを感じております。

さて、本年は埼玉県が誕生して150周年を迎える記念すべき節目の年です。この歴史を振り返り、先人たちが幾多の困難を乗り越え、本県を築き上げてこられたご苦労に心から敬意を表します。

県議会といたしましては、現在の埼玉県が直面するさまざまな困難に立ち向かい、感染症対策はもとより、ポストコロナに向けて、社会全体にデジタルトランスフォーメーションを波及させ、Society 5.0を早期実現に導き、県民一人ひとりが将来に夢と希望を描けるような郷土埼玉を築くことが使命となります。そのためにも、議会が県政のチェック機能を最大限に発揮することはもちろん、県民の皆さまの声を傾け、議員同士が活発に議論し、積極的に政策提案を行っていくことが重要です。

二元代表制の一翼を担う県議会がその役割と責務を果たすことができるよう、岡地優副議長と力を合わせ、公正かつ円滑な議会運営に精一杯努めてまいります。

県民の皆さまにおかれましては、今後とも県議会に対するより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 議長あいさつ



埼玉県議会議長  
木下高志



埼玉県議会副議長  
岡地 優

## 2月定例会の議決の概要

### 知事提出議案

- 令和3年度埼玉県一般会計予算(5面)
- 令和3年度埼玉県一般会計補正予算(第1号)(5面)
- 埼玉県職員定数条例の一部を改正する条例など74件を可決、そのほか1件を承認、1件を答申、4件に同意

### 議員提出議案

- 埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例(8面)
- わいせつ行為により教員免許が失効等した者の採用に関する制度の厳格化を求める意見書など14件を可決

## 4月臨時会の概要

### 4月1日開催

地方独立行政法人埼玉県立病院機構の中期計画の認可についてなど2件の議案を審議し、1件を可決、1件を承認しました。

### 4月19日開催

令和3年度埼玉県一般会計補正予算(第2号)(5面)の1件について審議し、可決しました。

代表質問・一般質問で行われたすべての質疑質問・答弁の全文は、埼玉県議会のホームページでご覧になれます。



本会議の様子

3月1日(月曜日)

**西山淳次** (公明)

**田並尚明** (民主フォーラム)

2月26日(金曜日)

**岡重夫** (県民)

**小島信昭** (自民)

# 代表質問

2月26日、3月1日の代表質問では、会派を代表して4人の議員が質疑・質問を行いました。

## 農業

**代表質問** デジタルトランスフォーメーションの推進によるスマート社会の実現に向けてスマート農業の推進

**Q** 農林水産省ではロボットトラクターの自動運転などスマート農業実証プロジェクトを、総務省ではスマート農業の鍵となるローカル5G(※4)を活用するプロジェクトを進めている。これら国の事業も積極活用し、生産性向上と担い手不足解消を図るべきと考えるが所見を伺う。

**A** 国のプロジェクトを2地区で進め、さらに分散したほ場でのロボット田植機の効率的利用など本県独自の実証を5地区で進めている。令和3年度は露地野菜での実証や5G活用の検討等を行い、もうかる農業を実現し成長産業とするため農業現場のDX実現に努める。

## 知事の県政運営方針

**代表質問** 知事公約についてあと数マイルプロジェクト(※1)

**Q** 有識者による「公共交通の利便性向上検討会議」において、鉄道延伸の評価視点や項目を検討し、路線ごとの課題や効果、取り組みの方向性を整理しているが、分析ばかりで事業の進捗がみられない。延伸に向けた課題解決のための処方箋を期待する県民の声にどう応えていくのか。

**A** 令和2年度設置の検討会議では、都内から県内に向かう路線の利用者増につながるまちづくりの在り方や、観光資源の生かし方についての指摘もあった。これら新たな視点を含めた取り組みの方向性を、便益向上やコスト削減に結び付け、延伸の実現という県民の期待に応えていく。

## 雇用

**代表質問** 新型コロナ関連問題とその対策について

**Q** コロナ禍の雇用で特に影響を受けるのは、非正規労働者や女性であり、さらなる解雇や雇止めが懸念される。一時的に県が直接雇用し、就業経験を積んでから再就職支援を行うなどの緊急就職支援事業に全力で取り組み、雇用と命を守るべきと考えるが見解を伺う。

**A** コロナ禍の失業者を対象に、令和2年7月県非常勤職員の募集を行った。国や市町村職員の募集も県ホームページで案内し、任期終了後の就職支援も積極的に行っていく。また埼玉しごとセンターではオンライン相談等の拡充、緊急地元就職面接会等コロナ禍の就職支援を強化する。

## 新型コロナ関連

**代表質問** 令和3年度埼玉県一般会計当初予算案について

**Q** 新型コロナウィルス感染症対策推進基金(※2)は令和2年4月臨時会で約100億円積み立てられ、さまざまな対策に活用されてきた。令和3年度も積み立てと取り崩しが続くと思われる。当初予算案での基金残高、また、長期的な視点で基金をどのよう活用していくのかを伺う。

**A** 令和2年度末の基金残高は約11.6億円を見込んでいる。当初予算ではPCR検査や発熱外来センターの整備などと中小企業向け制度融資事業への活用を見込んでおり、令和3年度末での残高は約60億円となる見込みである。今後も新型コロナ対策事業へ機動的に基金を活用していく。

## 環境

**代表質問** CO2排出ゼロに向けて

**Q** 令和2年10月に首相が、2050年までにCO2排出ゼロを目指すと言った。人類の基盤を脅かす地球温暖化への対策を世界中が模索している。知事は昨年、具体的な道筋を検討すると発言したが、県民の先頭に立って全力で取り組み、先進的な政策展開を行う決意があるか伺う。

**A** 産業界や事業者の協力により目標設定型排出量取引制度(※5)でCO2排出の大幅な削減効果を上げている。また、金融機関、中小企業、環境の三方に寄与する省エネ投資支援などを行っている。CO2排出をゼロに近づけるべく、今後も県民や事業者とワンチームで取り組む。

## DXについて

**代表質問** DXについて

**Q** 令和3年度予算の柱の一つでもあるDX(デジタルトランスフォーメーション)とは、デジタル技術の浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させることである。DXを推進していくためには、デジタルに詳しくない人も支える視点が重要と考えるが見解を伺う。

**A** 一人ひとりが最低限度の情報通信技術を活用できるいわゆるデジタルミニマムを確保し、デジタル利用の裾野を広げることが重要である。例えばスマートフォン体験教室や、高齢者が多い中小企業経営者にDX推進員を派遣するなど、誰もがデジタルの恩恵を受けられる社会を目指す。

## 教育

**一般質問** 北朝鮮による拉致問題の活用状況について

**Q** 拉致問題に関する啓発DVD(※6)の活用率は上がっているのか。問題を若い人たちに伝え、風化させないためにも児童生徒が卒業までに必ず一度は見るべきと考えるが、状況把握はできているのか。また、県内中学校で行われた公開授業のような取り組みは拡大しているのか。

**A** DVDアニメ「めぐみ」の活用率が、さいたま市を除く公立小中学校で100%となるなど増加している。児童生徒が一度はDVDを使い学習できるように、年間指導計画での位置付けを調査している。拉致問題への理解を深める授業が行われるよう優れた事例の紹介などを進める。

## 地域公共交通政策について

**一般質問** 地域公共交通政策について

**Q** 「地域の足」を地域自らデザインするMaaS(※3)。高齢者対策や観光振興で理想的なサービスになり得ると期待される。民間主導で実証実験などが開始されたが、地域公共交通計画との連携や継続的なメンテナンスの面から県の主体的な関与が望まれるが見解を伺う。

**A** 住民に身近な市町村が主体となり地域課題解決のためにMaaSを活用することが重要である。県としては、まずは市町村の取り組みへの協力を行っていく。さらに、市町村や民間事業者のMaaS導入を促進するための枠組みづくりなど、調整役としての役割を果たしていく。

## 教育格差是正に向けた取り組みについて

**一般質問** 教育格差是正に向けた取り組みについて

**Q** 新型コロナ対策の臨時休業の影響で、特に低所得世帯の子どもの勉強時間が減少した。県では生活困窮者向けの学習支援を行っているが、勉強意欲のある子どもが、自宅近くの学習塾などで、他の子どもたちと一緒に同じ環境で学べる学習支援も必要である。支援を行う考えはあるか。

**A** 貧困の連鎖を断つべく全国に先駆けてアスポート事業(※7)を行っている。公共施設を活用する市が多いが、民間の学習塾を会場とする市もある。生活困窮世帯の子どもの学習支援の方法は、学ぶ環境を含め実施主体の市の考え方によるが県は取組事例の情報提供などを行う。

## 全県民に渋沢栄一をブームで終わらせない

**一般質問** 渋沢栄一をブームで終わらせない。市内連携強化に知事のリーダーシップを

**Q** 全県民に渋沢栄一の認知をさらに深めてもらうには、県立高校や県有施設すべてで独自のポスターを貼るなど横ぐし展開の取り組みが必要である。「市内連携プロジェクト会議」を有機的に機能させ全庁的にPRを進めるには知事の強いリーダーシップが必要と考えるが見解を伺う。

**A** この好機を捉え、埼玉50周年などと絡めた独自のポスター制作や、市町村など県以外の施設での掲出など認知度の獲得に向け部局横断的にPRしていく。再編したプロジェクト会議も最大限活用する。市町村や関係機関との連携を一層強化しながら、知事を先頭に取組んでいく。

# 一般質問

3月2日から4日の一般質問では、9人の議員が質疑・質問を行いました。

3月4日（木曜日）



諸井真英（自民）



鈴木正人（県民）



永瀬秀樹（自民）

3月3日（水曜日）



宇田川幸夫（自民）



萩原一寿（公明）



千葉達也（自民）

3月2日（火曜日）



白根大輔（民主フォーラム）



江原久美子（県民）



小川真一郎（自民）



## 災害対策

**Q** 令和2年国は治水の在り方を、ダムや堤防だけに頼るものから、広いエリア全体で治水に取り組み流域治水に転換すると発表した。この手法は昔から本県の河川に施されてきた。先人に学び、あふれることを想定した治水やまちづくりを長期的視点で進めるべきと考えるがどうか。

**A** 治水対策の加速化と併せて、氾濫もあり得ることを前提にあらゆる関係者が協同して取り組む流域治水を推進する。氾濫をできるだけ防ぐ対策や、被害対象を減少させる対策、被害軽減、早期復旧・復興のための対策などを長期的視点に立ち、国や市町村と連携し着実に進める。

**代表質問**  
**策 先人に学ぶ流域治水対策**



## 保健・医療

**Q** コロナ禍で本県でも自殺者は増えている。身近な人の自殺のサインに気付く、話を受け止め、必要に応じて専門相談機関につなぐ「ゲートキーパー」の役割が重要である。市町村が研修・養成を担っているが、自殺者を減らすため県主体で取り組みを充実させるべき。見解を伺う。

**A** アフターコロナを見据え、ゲートキーパー制度の有効性を改めて評価し、実践することは重要である。コロナ禍で行政機関の窓口にはゲートキーパーの役割が求められている。県が主体となり重要性の周知や養成方法、好事例を市町村に紹介するなど危機感をもちて制度の充実を図る。

**代表質問**  
**自衛防止対策について**

新型コロナ関連



## 住宅

**Q** 県営住宅は、一般住宅で入居期間が10年とされている。高齢の入居者にとって、期限終了前に新たな住宅を探すことは経済力や体力の面で負担が大きく、退去後の入居に困難しやすい。高齢の入居者には一定の配慮が必要だと考えるが、10年という入居期限への所見を伺う。

**A** 入居期間を10年とする制度は入居機会の公平性を確保するために導入され、応募倍率の大幅な緩和など目的は一定程度達成された。入居者の高齢化も進み、コミュニティが形成された地域に住み続けたいという要望もある。高齢者が安心して住み続けられるよう制度の見直しを行う。

**一般質問**  
**県営住宅について**

**Q** 国は緊急事態宣言の2週間延長の方針を示したが、当初の解除基準を満たしていることを考えると、科学的根拠ではなく世論や空気に押されて政策が決められたように見えてしまう。県としては新規感染者数や病床利用率などがどのような状況になれば宣言を解除すべきと考えるか。

**A** 国へ宣言解除要請をする基準は、本県では総合的に判断するとしている。これは例えばワクチン接種やクラスターの発生など、状況によって慎重に判断すべきとの認識に基づく。他方、現時点で判断の目安として最も重視するのは病床使用率であり、まずは500床を目標としたい。

**一般質問**  
**新型コロナウイルス感染症対策特別措置法改正に伴う県の役割について**

新型コロナ関連

## その他の主な質疑・質問

代表質問から

- 新型コロナウイルス感染症対策について 感染防止の取り組み
- 新型コロナウイルス感染症 ワクチン接種の副反応や体制整備などについて
- 財政について 今後の財政運営について
- コロナ禍が意味するものは何か？

一般質問から

- 医療機関への経営支援について
- 子どもたちの学びに渋沢栄一を
- 埼玉高速鉄道の利用促進について
- 若年者の在宅ターミナルケア支援について
- 新型コロナウイルス感染症対策について 情報発信について
- スタートアップの創出に向けて 支援体制整備の方向性について
- 日暮里・舎人ライナーの延伸について
- 人権問題解決に向けたウイグル人への埼玉県としての支援について
- わいせつ事件で懲戒処分を受けた教員の現場復帰について

## 用語解説

### ※1 あと数マイルプロジェクト

将来の人口・需要や新たな技術の動向などを十分に把握した上で、公共交通および道路網のさらなる利便性向上策について、これまでの経緯なども踏まえつつ検討を進めるもの。限られた予算の中で、県境路線を含めた効果の高い部分について、重点的に整備を進めるもの。

### ※2 新型コロナウイルス感染症対策推進基金

新型コロナウイルス感染症のまん延防止、医療提供体制の整備、県経済の回復や活性化を図るために活用する基金。寄附金は、基金を通じて対策事業に活用される。

### ※3 MaaS（マース）

Mobility as a Serviceの略称。電車やバス、飛行機などあらゆる公共交通機関をITを用いて結び付け、移動を効率化したり、便利にしたりするサービスのこと。場面に応じてユーザーが最適な交通手段を手軽に使えるようになることが期待される。

### ※4 ローカル5G

通信事業者以外の企業や自治体を対象に、局所的なネットワーク内という条件で利用できる免許制の第5世代移動通信システム（5G）のこと。

※5 目標設定型排出量取引制度

温室効果ガスを排出する大規模事業所が、定められた削減目標を達成できない場合、排出量取引により他事業所の削減量を取得し、目標達成に充てられる制度。

### ※6 拉致問題に関する啓発DVD

「北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ『めぐみ』（横田めぐみさんの拉致事件を題材にしたアニメ）、「横田滋 早紀江さんからのメッセージ」（横田めぐみさんの両親夫妻へのインタビュー）。道徳や社会科の授業で扱われ、人権について学ぶ。

### ※7 アスポート事業

平成22年に本県が全国に先駆け開始した、生活保護世帯の中学生を対象として、高校進学へ向けた学習支援を行う事業。平成25年からは高校生の中退防止支援、平成27年からは生活困窮世帯も対象としている。

### ※8 姉妹友好州省

県は、メキシコ州、山西省、クイーンズランド州、オハイオ州、ブランデンブルグ州の五つの州省と姉妹友好協定を締結している。

**Q** 母子保健法の改正により、令和3年4月から産後ケア事業の実施が市町村の努力義務となる。助産師などが家庭訪問する「アウトリーチ型」や病院などで休養できる「宿泊型」のサービスを市町村が提供できるように、県はどのように支援するのか。目標設定も併せて伺う。

**A** 産後の心身の不調や育児不安がある産婦をサポートするこれらの支援策は大変重要である。令和6年度末までにすべての市町村が産後ケア事業に取り組みことを目標に、研修会などを開催し市町村を支援する。実施困難な市町村には、広域連携により行うよう県が調整などを担う。

**一般質問**  
**産後ケアの努力義務化について**

**Q** コロナ禍で入院患者への対応が難しい状況が続いている。Zoom、LINEなどに救われたという方がいる一方、ネット環境のない病室で家族と会話ができない精神的に追い詰められている方も多い。民間病院に先立ちますは県立病院で導入すべきと考える。取り組みを伺う。

**A** 循環器・呼吸器病センター、がんセンター、小児医療センターでの患者向けWiFi整備は、医療の質向上に有用と考える。4月の地方独立行政法人化を契機に、WiFi整備を含めた患者サービス向上の検討を始める。緩和ケア病棟等から導入を検討し、その後段階的に進めていく。

**一般質問**  
**病室内のWiFi（無線LAN）整備 埼玉県立病院について**

新型コロナ関連



## 国際交流

**Q** 新型コロナウイルスの影響で国際交流の機会が減少している。グローバル人材の育成に繋がる国際交流を停滞させず、子どもや若者に機会を提示し続けることが県の責務ではないか。県は五つの州省と姉妹友好関係にある。これを活用すべきと考えるが、今後どのように交流を進めるのか。

**A** オンラインでの交流を積極的に進める。オハイオ州の大学と連携し、県内に居ながら現地の講義に参加できるように取り組む。また、スポーツ分野へ交流の場を広げ、ラグビーを通じたクイーンズランド州との交流を推進するなど、多くの県民が成果を享受できる国際交流に努める。

**一般質問**  
**コロナ禍における姉妹友好州省（※8）との交流について**

新型コロナ関連



本会議の様子はインターネット中継でご覧になれます。左のQRコードからアクセスできます。

# 予算特別委員会



## 部局別質疑から

## 主な質疑と答弁

### 埼玉農産物輸出総合サポート事業(※1)について

**Q** 輸出額などの目標を定めているのか。目標を定めていないとすると、当該事業に対する予算額の妥当性が分からないと思うがどうか。

**A** 当該事業の目標は、具体的には定めていない。御指摘のとおり、目標を踏まえた上で事業を実施し、効果を検証することが必要であるので、どのような目標が適切か検討していきたい。

### 高齢者に対する新型コロナウイルスの市町村への分配について

**Q** 高齢者の人口規模だけでなく、高齢者人口に占める陽性者の割合の高い市町村に配分する算定方法を採用している。しかし、クラスターが発生した高齢者施設では感染対策がしっかりと取られていることや陽性者は抗体を獲得している可能性があることを踏まえると、純粹に、高齢者の人口規模のみを優先して分配するといった考え方もあると思うがどうか。

**A** 県内の陽性者は大都市だけでなく、規模の小さな市町でも発生している状況だが、人口規模のみで算定すると、さいたま市などの大都市部を中心に分配することになる。また、今回分配するワクチンは非常に量が少ないため、高齢者へのワクチン接種が本格化する前の、いわば、パイロット的な接種という趣

旨もある。そこで、規模の大きい市だけでなく、規模の小さなところにも分配し、さまざまなケースで試行的に接種をしていきたいという考えから、陽性者の割合も勘案した。

### 伊奈学園における中高一貫教育について

**Q** 伊奈学園は、関東近県で先駆けて設置された公立の中高一貫校であったことから、設置に当たり文教委員会において、「試行的、モデル的に限定して設置すべきであり、今後については、効果や成果を十分に検証するなど、慎重な対応が求められる」といった附帯決議がなされた。同校に関して、今までにどのような検証を行ったのか。

**A** 第1期生の高校卒業に合わせ、成果と課題の検証を行った。その際、高校卒業までの6年間を見通した計画的、継続的な教育指導が展開でき、卒業後の進路実績にも一定の成果を得ることができた。一方で、抽選による入学者選考について課題が示され、その後、抽選を行わない選考に改善するなど、中高一貫教育の充実に努めてきた。

### 県内市町村の都市計画と防災について

**Q** 市町村の立地適正化計画(※2)と防災指針の作成に対する支援の具体的な内容は何か。また、近年は台風や想定を超える大雨



**A** 被害などにより浸水エリアが複数の市町村に及んでいることから、近隣市町村と連携して計画等を作成する必要があると考える。まずは県が全体の基本的な考え方やガイドラインを提示すべきと考えるがどうか。

**A** 令和3年度から、県がまとめた役割となり、三つから四つの市町村を一つのグループとする勉強会を開催する。県が持つ災害リスク情報などを示しながら、作成に当たった課題や対策について分析・整理や意見交換を行う新たな取り組みを進める。また、広域的調整の役割を担う立場として、市町村が実効性の高い防災指針を策定できるように、国が改訂を予定している「立地適正化計画作成の手引き」を補完する形で、県としての考え方や方針を示すため検討していく。

### 用語解説

#### ※1 埼玉農産物輸出総合サポート事業

コロナ禍で消費構造が変化し、既存販路の需要が減る中、県産農産物の新規販路を開拓するため、輸出を志向する生産者団体等への情報提供や輸出先国でのフェア・商談などの支援を行う事業。

#### ※2 立地適正化計画

医療・福祉施設、商業施設や住居などがまとまって立地する「コンパクト・プラス・ネットワーク」の形成に向け、都市再生特別措置法に基づき市町村が作成する計画。

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| 金野 桃子(県民)      | 副委員長 木村 勇夫(民主フォーラム) |
| 平松 大佑(県民)      | 副委員長 諸井 真英(自民)      |
| 千葉 達也(自民)      | 委員長 宮崎栄治郎(自民)       |
| 柿沼 貴志(県民)      |                     |
| 中川 浩(改革)       |                     |
| 渡辺 大(自民)       |                     |
| 木下 博信(自民)      |                     |
| 藤井 健志(自民)      |                     |
| 橋詰 昌児(公明)      |                     |
| 町田 皇介(民主フォーラム) |                     |
| 守屋 裕子(共産党)     |                     |
| 松坂 喜浩(県民)      |                     |
| 美田 宗亮(自民)      |                     |
| 吉良 英敏(自民)      |                     |
| 松澤 正(自民)       |                     |
| 浅井 明(自民)       |                     |
| 飯塚 俊彦(自民)      |                     |
| 内沼 博史(自民)      |                     |
| 安藤 友貴(公明)      |                     |
| 山根 史子(民主フォーラム) |                     |
| 前原 かつえ(共産党)    |                     |
| 石川 忠義(県民)      |                     |
| 立石 泰広(自民)      |                     |
| 荒木 裕介(自民)      |                     |
| 水村 篤弘(民主フォーラム) |                     |
| 新井 一徳(自民)      |                     |
| 中屋 敦慎(自民)      |                     |
| 塩野 正行(公明)      |                     |
| 小林 哲也(自民)      |                     |

予算特別委員会 委員名簿  
(令和3年3月26日現在)

# 総括質疑から

## 主な質疑と答弁

### 特別養護老人ホーム等整備事業費について

**Q** 令和3年度から始まる第8期高齢者支援計画案では、既存施設の改修に当たり、個室化やユニット化をすることが盛り込まれている。第7期計画策定の議論の際、議会の決議を受け、個室化やユニット型への政策誘導は行わないこととなっていたが、その方針を変更するのか。

**A** 市町村や設置者の意向など地域の実情を十分踏まえた上で整備するという基本的な考え方は、第7期策定時と変えない。第8期計画の策定に当たっては、議会での決議を踏まえ、検討していく。

### 県庁舎の再整備の検討について

**Q** 現在の県庁舎は、執務室環境、優秀な人材確保および働き方の変化や行政のデジタル化への対応などに課題がある。こうしたことを踏まえると、目標使用年数の築80年にこだわることなく建て替えを検討するべきではないか。

**A** 県庁舎の在り方の検討に当たっては、これまでの県庁舎の機能に加え、テレワークなどの働き方の変化への対応が重要な観点となってくる。また、仮に建て替える場合は、短期間ではなく数十年単位で使用することになるため、デジタルトランスフォーメーションが行政に与える影響など数十年スパンで考え



ていく必要がある。県庁舎の再整備については、80年は一つの目安であり、時期や機能、県庁舎の今後の在り方を含め、検討していきたい。

### 埼玉県農業大学校跡地周辺地域の整備について

**Q** これから策定される基本構想や基本計画の具体的な内容はどうなるものか。また、事業を進めていく上で、用地を早期に購入することが重要であるが、その見通しはどうか。

**A** 基本構想では、生産年齢人口減少等の社会的課題の解決につながるロボット開発を行う中小企業への支援策や、実証フィールドのコンセプトなどについて定めていきたい。また、基本計画では、構想を踏まえ、ロボット開発を促進する拠点の規模や機能、フィールドの用途



## その他の主な質疑

### 部局別質疑から

- 埼玉版SDGsの推進
- 屋内50メートル水泳場及びスポーツ科学拠点施設の整備
- 若者の消防団への加入促進
- スマート農業の推進
- 少子化対策の推進
- 中小企業のデジタル化支援
- 県立病院の独法化による地域医療への貢献
- 流域下水道維持管理負担金の設定

- 国際バカロレア等の特色ある教育課程の研究・検討
- 災害対応力の強化

### 総括質疑から

- 埼玉県コバトン健康マイレージ事業
- 多子世帯応援クーポン事業
- シニアの活躍を進めるための環境づくり
- 埼玉ブランド農産物の推進
- JR川越線の複線化

や形状などを盛り込んだ内容としていく。策定に当たっては、企業のニーズを把握した上で、整備の目的を明確にし、慎重に検討を進めていく。また、用地の購入については、令和2年度から、用地交渉に関して専門的知見がある埼玉県土地開発公社へ委託することで用地交渉がスピードを加速化させ、早期の整備を目指したい。

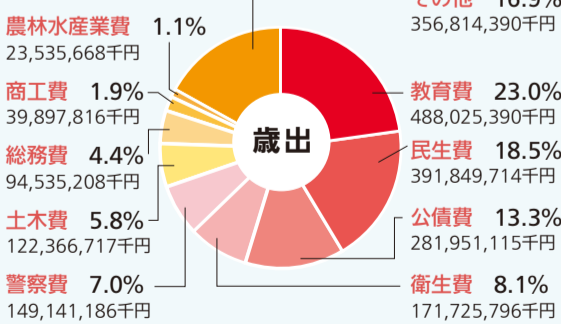
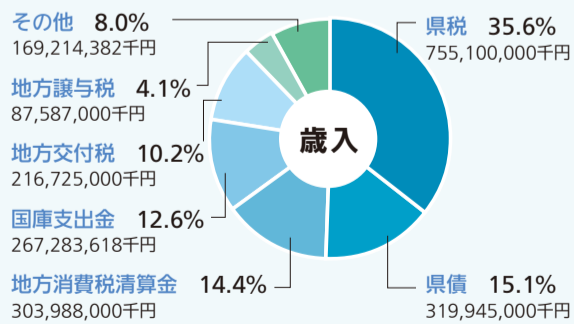
## 附帯決議

次の事業などについては、執行方法について十分検討し、適切に対応するよう求めました。

- 予算編成にあたってのEBPM（証拠に基づく政策立案）の推進
- DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
- 特別養護老人ホーム等の整備・改修
- コバトン健康マイレージ
- 先端産業創造プロジェクト
- 「農大跡地の周辺地域12ヘクタールの土地」を近未来技術の実証フィールドとする整備

## 令和3年度 一般会計予算の概要

当初予算 2兆1,198億4,300万円



## 重点施策

### 安心・安全の強化

- 感染拡大防止と医療提供体制の強化
- 危機や災害に強い埼玉の構築
- 県民の暮らしを守る

### DXの推進と県経済の回復・成長

- デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進
- 埼玉の稼げる力の向上
- 魅力ある埼玉の発信

### 持続可能で豊かな未来への投資

- 埼玉版SDGsの推進
- 誰もが活躍できる社会の実現
- 未来を見据えた基盤づくり

補正予算(第1号) 195億2,222万円

- 「非正規雇用労働者等に対する緊急支援策」などの国によるコロナ禍で困窮する低所得者支援策への対応や、飲食店等への営業時間短縮要請に係る協力金の支給等に要する経費

補正予算(第2号) 385億5,340万9千円

- まん延防止等重点措置の適用を国へ要請したことに伴い、「埼玉県感染防止対策協力金」の支給など新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に要する経費

令和3年度一般会計予算 補正後累計 2兆1,779億1,862万9千円



## 議会運営委員会

2月12日と定例会中の6日間、会議を開き、本会議を円滑かつ効率的に進行するため、議事日程、質疑質問者の人数、採決の方法や順序などについて会派間の協議を行いました。

## 委員会レポート *report*

2月定例会では、2月26日、3月8日に常任委員会を開き、補正予算・条例などの議案の審査などを行いました。審査の結果、議案53件を原案の通り可決、1件を承認すべきもの、また、1件を答申するものと決定しました。3月10日には特別委員会（予算特別委員会を除く。）を開き、付託案件の審査を行いました。

### 特別委員会

#### 自然再生・循環社会対策特別委員会

脱炭素社会の実現に向けた取り組みと自然環境の保全・再生について審査

#### 地方創生・行財政改革特別委員会

行財政・職員の働き方改革について審査

#### 公社事業対策特別委員会

(公財) いきいき埼玉、(公財) 埼玉県芸術文化振興財団、(福) 埼玉県社会福祉事業団における改革の取り組みについて審査

#### 少子・高齢福祉社会対策特別委員会

子育て支援、児童虐待防止対策について審査

#### 経済・雇用対策特別委員会

企業誘致および先端産業創造プロジェクトについて審査

#### 危機管理・大規模災害対策特別委員会

災害情報連絡体制について審査

#### 人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会

文化の振興について審査

#### 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

緊急事態宣言中の取り組みと効果などについて審査

### 常任委員会

#### 企画財政委員会

埼玉県職員定数条例の一部を改正する条例について

**Q** 新型コロナウイルス対応と児童虐待防止対策のために職員を増やすことだが、事態が収まれば、将来的に職員定数は減らしていくのか。

**A** 今後についても、児童福祉司等の計画的な体制強化を図る一方、毎年度、適切でメリハリのある定数管理を行うことで、行政需要の変化にきめ細やかに対応していく。

#### 産業労働企業委員会

埼玉県産業技術総合センター条例の一部を改正する条例について

**Q** 産業技術総合センターの試験研究機器を広く企業に利用してもらうためには、企業の求める機器についての意見聴取が必要だと思うが、どのように行っているのか。

**A** 企業がセンターに来所した際などに直接話を聞いたり、さまざまな発表会等でアンケート調査を実施するなどして、企業の声を聴いている。

#### 総務県民生活委員会

知事の期末手当の特例に関する条例について

**Q** 知事の報酬削減を望む声は聞いたことがない。県民のどのような声を踏まえ、今回提案したのか。

**A** 知事がコロナ禍における経済状況等を踏まえ、少しでも県民に寄り添いたいという気持ちを示すため、自身の期末手当を支給しないことを提案したものである。

#### 県土都市整備委員会

埼玉県高齢者、障害者等が円滑に利用できる建築物の整備に関する条例(バリアフリー条例)の一部を改正する条例について

**Q** 条例が改正された場合、新たな基準の適用となる建築物はどのくらいか。また、既存建築物も対象となるのか。

**A** 令和元年度のデータで計算すると、県内全域で建築確認件数約3万5000件に対して665件が適用となると見込んでいる。また、既存建築物は対象外だが、増築等を行う場合は、その部分が対象となる。

#### 環境農林委員会

埼玉県農林水産業振興基本計画の策定について

**Q** 計画の策定に当たっては、現行の埼玉農林業・農山村振興ビジョンを検証し、その結果を反映させたのか。

**A** 例えば、現行ビジョンではS・GAP(埼玉スマートGAP)の普及を位置付けているが、消費者等の認知度の向上に課題があった。そこで、今回策定する基本計画では、PR活動などを盛り込んでいる。

#### 文教委員会

埼玉県教育委員会事務局職員の定数条例の一部を改正する条例について

**Q** ICTを活用した学校教育の推進のために、どのような体制を進めていくのか。

**A** 新たに専任組織であるICT教育推進課を設置することとした。この組織で、教育情報化施策の企画・立案、ICT機器の整備、教員の研修及び動画教材の研究開発などに取り組むことで、一元的・効果的に対応していく。

#### 福祉保健医療委員会

令和2年度埼玉県一般会計補正予算(第15号)についてインフルエンザワクチン接種緊急促進事業について

**Q** 昨年10月から12月にかけて高齢者等に対して無料接種が行われたが、どの程度接種ができ、その効果はどうだったのか。

**A** 約194万人の対象者のうち、接種率は7割程度であった。効果としては、インフルエンザは、インフルエンザの報告はほとんどなく、ここ数年と比べても大幅に減少している。

#### 警察危機管理防災委員会

埼玉県高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に係る信号機等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

**Q** 高度化PICSは音響式信号機と比べ24時間運用できる利点があり、全県的に導入すべき。視覚障害者団体から意見や要望を聞いているのか。

**A** 毎年、意見交換する機会を設けており、今回整備する1カ所は、要望のあった箇所である。スマートフォンを介して稼働するため、普及状況も踏まえ、増加等を検討していく。

### 意見書・決議

意見書9件を可決し、国に提出しました。また、決議1件を可決しました。(●は全会一致での可決、○は賛成多数による可決)

- わいせつ行為により教員免許が失効等した者の採用に関する制度の厳格化を求める意見書
- 登記所備付地図の整備の更なる推進を求める意見書
- 子育て支援及び少子化対策に関する予算の充実及び関連施策の強化を求める意見書
- 無形文化財等の保護の推進を求める意見書
- 調査基準価格の引上げを求める意見書

- 犯罪被害者支援の充実を求める意見書
- 住まいと暮らしの安心を確保する居住支援の強化を求める意見書
- 歩行者利便増進道路制度の推進を求める意見書
- 別居・離婚後の子供と父母等との間の交流を促進するための法整備を求める意見書
- 哀悼決議  
埼玉県議会岩崎宏議員の逝去を悼み、謹んで御冥福を祈る。

# 主要会派から ～2月定例会～



埼玉県議会自由民主党議員団  
団長 小島 信昭

2月定例会では、私が代表質問を行い、新型コロナウイルス感染症対策、知事公約、令和3年度の行財政運営の基本姿勢などについて知事の見解をたどりました。

一般質問では5人の議員が登壇し、コロナ禍における医療機関への支援や医療体制、保健・福祉・教育・農業、大河ドラマに合わせた観光振興など、多岐にわたり質問をいたしました。今定例会の一般質問から、質問する議員が「一問一答式」を選択できるようになり、質疑質問・答弁がより一層活発に交わされました。

また、令和3年度予算を審査する予算特別委員会では、部局別質疑で踏み込んだ審査をした上、総括質疑においてしっかりと知事の方針をたどりました。

さらに、エスケーターへの安全な利用を確保し、県民が安心して暮らせる社会を実現するための条例を提案し可決されました。

自由民主党議員団は、県議会最大会派として責任を果たすべく、埼玉県のさらなる発展に向け、全力で取り組んでまいります。



無所属県民会議  
代表 岡 重夫

2月の定例会の代表質問では、私が新型コロナウイルスの副反応や体制整備、自殺防止対策などについて大野知事に質問しました。また、一般質問では志木市選出の鈴木正人議員が、人権問題解決に向けたウイグル人への支援策、離婚後の親子交流などについて、深谷市、美里町、寄居町選出の江原久美子議員は、今定例会から導入された一問一答式で質問を行い、渋沢栄一を学校教育で生かすことなどを提案しました。

さらに、予算特別委員会には石川忠義委員、松坂喜浩委員、柿沼貴志委員、平松大佑委員、金野桃子委員の5人が臨み、コロナ禍で厳しい財政状況の中、いかに県民の命や生活を守る施策を進めるかという視点で議論を行いました。

また、会派としてウイグル人への人権弾圧に強く抗議し、制法の制定を求めるといった主旨の意見書の提出を求める動議を本会議で提出しましたが、大変残念ながら、自民・公明の反対で議題とすることは否決されました。今後も県民視線を大切にしっかりと取り組んでまいります。



埼玉民主フォーラム  
代表 田並 尚明

2月定例会では、私が代表質問に立ち、コロナ禍における県の財政や雇用問題など、県が抱える課題や、アフターコロナに埼玉県をどのように発展させていくのか、大野知事の考えを伺いました。

また、一般質問では今回から一問一答式を選択できるようになり、わが会派からは白根大輔議員が初挑戦しました。白根議員は地下鉄7号線延伸、県営屋内50メートルプールの早期設置などについて質問しました。

予算特別委員会では、わが会派の木村勇夫委員が副委員長に就任し、水村篤弘委員、山根史子委員、町田圭介委員が質問に立ち、新型コロナウイルス対策をはじめとした質問や提案を行い、執行部からは前向きな答弁がありました。

しかし、新型コロナウイルス感染症対策については、ワクチン接種や事業の継続、また雇用などについて、まだまだ不安の声が届いています。今後も県民の皆さまの声を傾け、安心安全の埼玉県を目指し会派一丸となり県政に取り組んでまいります。



埼玉県議会公明党議員団  
団長 西山 淳次

緊急事態宣言下で始まった2月定例会ですが、代表質問には私が立ち、コロナワクチンへの対応をはじめ、温暖化防止、脱プラスチック、防災などを取り上げました。特にコロナ禍は現代文明の脆弱さを突いたことや、人類は大きな転換期を迎えているとの視点を強調しました。

一般質問に立った秋原一寿議員はコロナ対策をはじめ、環境科学国際センター、がん治療と仕事の両立などを質問。特に、環境科学国際センターについて、その研究成果を県の政策に十分生かすべきと訴えました。

また、予算特別委員会では塩野正行委員、安藤友貴委員、橋詰昌児委員の3人が新年度予算について一問一答方式の論戦に立ち、コロナ対策、学校トイレの洋式化、DXの進め方などで論戦を交わしました。

成立した新年度予算には、わが党が求めていた保健所の体制強化やコロナ受け入れ医療機関への支援、SDGsの推進、児童相談所の強化などが盛り込まれており、大きな成果と考えています。



日本共産党埼玉県議員団  
団長 柳下 礼子

本定例会は令和3年度予算を審査する予算特別委員会が行われ守屋裕子議員と前原かつえ議員が委員として質疑・討論を行いました。前原委員は県立小児医療センター駐車場の混雑解消や感染対策でバスを増便した私立学校への補助など部局別質疑で県民の声を届けました。総括質疑では守屋委員が新型コロナウイルス感染症対策と県職員の女性幹部登用問題などを質問し、高齢者・障害者施設従事者への定期的なPCR検査を求めました。知事は「守屋委員の指摘に共有できる」と答弁しました。

本予算には、児童相談所・一時保護所の整備、特別支援学校の増設などが盛り込まれており、これらは、わが党も繰り返し要望してきたものです。討論では、当初予算に賛成いたしました。水需要の減少の中で進められている思川開発事業や県立4病院の独立行政法人化・総合リハビリテーションセンターの公営企業化などについて問題点を指摘しました。今後も県民の願い実現に全力を尽くしてまいります。

## 一般質問で「一問一答式」が開始

2月定例会の一般質問から、「一問一答式」が導入されました。

質問する議員は従来の「一括質問・一括答弁式」と「一問一答式」から質問形式を選択できるようになりました。2月定例会では、5人の議員が「一問一答式」を選択して質疑・質問を行いました。



## 本会議に「手話通訳」を導入しました

4月臨時会の本会議より、議場内における手話通訳を導入しました。

県議会のインターネット中継（ライブ中継・録画中継とも）でも、手話通訳者を配置した本会議の様子をご覧ください。



## 会派別所属議員数 令和3年4月21日現在

| 会派名(略称) | 所属議員数 |
|---------|-------|
| 自民      | 50人   |
| 県民      | 14人   |
| 民主フォーラム | 10人   |
| 公明      | 9人    |
| 共産党     | 6人    |
| 改革      | 1人    |
| 無所属     | 1人    |
| 計       | 91人   |

## 埼玉県議会の令和2年度情報公開の結果について

令和2年度に公開請求を受け付けた公文書の件数は、21件でした。そのうち文書のすべてを公開したものが6件、プライバシーに配慮して氏名や印影など、文書の一部を公開しない部分公開が11件でした。また、該当するものがなかったとの理由により公開できなかったものが4件ありました。

## 新議員決まる

埼玉県議会議員補欠選挙（北第2区 横瀬町・皆野町・長瀬町・小鹿野町・東秩父村）により、令和3年4月19日に新議員が選出されました。



阿左美 健司  
(自民)

# 「埼玉県エスカレーターへの安全な利用の促進に関する条例」を可決

エスカレーターは安全上、立ち止まった状態で利用するのが正しい利用方法であるとされています。しかし、歩いて利用する人のために片側を空けておくことが慣例となっており、歩行による利用が日常的に見られます。エスカレーター上の歩行は、自身が転倒する原因となるだけでなく、接触や衝突によりほかの利用者を転倒させる恐れもあり、非常に危険です。

そこで、エスカレーターの安全な利用の促進に関し、県の責務などを明らかにするとともに、エスカレーターの利用および管理に関し必要な事項を定めることにより、エスカレーターの安全な利用を確保し、県民が安心して暮らせる社会を実現するため、本条例案が議員提出され、審議の結果、賛成多数で可決されました。



**県の責務**  
エスカレーターの安全な利用の促進に関する施策の実施

**利用者の義務**  
立ち止まった状態でエスカレーターを利用しなければならない。

**県民の責務**  
エスカレーターの安全な利用に関する理解と県の施策への協力など

**管理者の義務**  
利用者に対し、立ち止まった状態でエスカレーターを利用すべきことを周知しなければならない。

**管理者に対する指導など**  
知事は、管理者に対し周知に関する指導や助言、勧告をすることができる。  
(施行：令和3年10月1日)

## 新たな委員会構成

※◎は委員長、○は副委員長です。 令和3年4月21日現在

| 委員会名                                 | 正副委員長  | 委員   |
|--------------------------------------|--|--|
| 議会運営委員会<br>定数 17                     | ◎ 立石 泰広 (自民)<br>○ 宇田川幸夫 (自民)<br>○ 江原久美子 (県民) | 橋詰 昌児 (公明) 松坂 喜浩 (県民) 岡田 静佳 (自民) 石川 忠義 (県民) 萩原 一寿 (公明)<br>秋山 文和 (共産党) 須賀 敬史 (自民) 中屋敷慎一 (自民) 山本 正乃 (民主フォーラム) 神尾 高善 (自民)<br>田村 琢実 (自民) 宮崎栄治郎 (自民) 小谷野五雄 (自民) 木村 勇夫 (民主フォーラム)                         |
| 常任委員会                                |  |  |
| 企画財政委員会<br>定数 12<br>欠員 1             | ◎ 細田 善則 (自民)<br>○ 千葉 達也 (自民)                 | 白根 大輔 (民主フォーラム) 杉田 茂実 (県民) 中川 浩 (改革) 江原久美子 (県民) 松澤 正 (自民)<br>安藤 友貴 (公明) 白土 幸仁 (自民) 田村 琢実 (自民) 長峰 宏芳 (自民)   |
| 総務県民生活委員会<br>定数 12                   | ◎ 横川 雅也 (自民)<br>○ 関根 信明 (自民)                 | 並木 正年 (県民) 前原かつえ (共産党) 日下部伸三 (自民) 醍醐 清 (県民) 梅澤 佳一 (自民)<br>宇田川幸夫 (自民) 立石 泰広 (自民) 蒲生 徳明 (公明) 高木 真理 (民主フォーラム) 本木 茂 (自民)   |
| 環境農林委員会<br>定数 11                     | ◎ 吉良 英敏 (自民)<br>○ 橋詰 昌児 (公明)                 | 平松 大佑 (県民) 逢澤圭一郎 (自民) 秋山 もえ (共産党) 山根 史子 (民主フォーラム) 井上 航 (県民)<br>小川真一郎 (自民) 武内 政文 (自民) 諸井 真英 (自民) 小島 信昭 (自民)   |
| 福祉保健医療委員会<br>定数 12                   | ◎ 岡田 静佳 (自民)<br>○ 渡辺 大 (自民)                  | 金野 桃子 (県民) 町田 皇介 (民主フォーラム) 松坂 喜浩 (県民) 藤井 健志 (自民) 小久保憲一 (自民)<br>村岡 正嗣 (共産党) 山本 正乃 (民主フォーラム) 神尾 高善 (自民) 小谷野五雄 (自民) 石渡 豊 (公明)   |
| 産業労働企業委員会<br>定数 12                   | ◎ 永瀬 秀樹 (自民)<br>○ 松井 弘 (自民)                  | 深谷 顕史 (公明) 飯塚 俊彦 (自民) 石川 忠義 (県民) 岡 重夫 (県民) 荒木 裕介 (自民)<br>水村 篤弘 (民主フォーラム) 秋山 文和 (共産党) 木下 高志 (自民) 小林 哲也 (自民) 田並 尚明 (民主フォーラム)   |
| 県土都市整備委員会<br>定数 12                   | ◎ 木下 博信 (自民)<br>○ 萩原 一寿 (公明)                 | 阿左美健司 (自民) 柿沼 貴志 (県民) 宮崎 吾一 (自民) 守屋 裕子 (共産党) 中野 英幸 (自民)<br>新井 一徳 (自民) 高橋 政雄 (自民) 齊藤 正明 (自民) 西山 淳次 (公明) 木村 勇夫 (民主フォーラム)   |
| 文教委員会<br>定数 11                       | ◎ 美田 宗亮 (自民)<br>○ 山口 京子 (自民)                 | 岡村ゆり子 (県民) 八子 朋弘 (県民) 辻 浩司 (民主フォーラム) 浅井 明 (自民) 新井 豪 (自民)<br>岡地 優 (自民) 中屋敷慎一 (自民) 塩野 正行 (公明) 柳下 礼子 (共産党)  |
| 警察危機管理防災委員会<br>定数 11<br>欠員 1         | ◎ 内沼 博史 (自民)<br>○ 権守 幸男 (公明)                 | 高橋 稔裕 (自民) 高木 功介 (自民) 東間亜由子 (民主フォーラム) 浅野目義英 (無所属) 鈴木 正人 (県民)<br>齊藤 邦明 (自民) 須賀 敬史 (自民) 宮崎栄治郎 (自民)   |
| 特別委員会                                |  |  |
| 自然再生・循環社会対策特別委員会<br>定数 13            | ◎ 新井 豪 (自民)<br>○ 藤井 健志 (自民)                  | 阿左美健司 (自民) 高橋 稔裕 (自民) 柿沼 貴志 (県民) 横川 雅也 (自民) 東間亜由子 (民主フォーラム)<br>浅野目義英 (無所属) 萩原 一寿 (公明) 村岡 正嗣 (共産党) 醍醐 清 (県民) 神尾 高善 (自民)<br>小谷野五雄 (自民)   |
| 地方創生・行財政改革特別委員会<br>定数 13             | ◎ 齊藤 邦明 (自民)<br>○ 飯塚 俊彦 (自民)                 | 平松 大佑 (県民) 逢澤圭一郎 (自民) 松坂 喜浩 (県民) 内沼 博史 (自民) 前原かつえ (共産党)<br>日下部伸三 (自民) 権守 幸男 (公明) 山本 正乃 (民主フォーラム) 田村 琢実 (自民) 本木 茂 (自民)<br>田並 尚明 (民主フォーラム)   |
| 公社事業対策特別委員会<br>定数 13                 | ◎ 須賀 敬史 (自民)<br>○ 浅井 明 (自民)                  | 金野 桃子 (県民) 秋山 もえ (共産党) 高木 功介 (自民) 辻 浩司 (民主フォーラム) 吉良 英敏 (自民)<br>山根 史子 (民主フォーラム) 井上 航 (県民) 荒木 裕介 (自民) 高橋 政雄 (自民) 小島 信昭 (自民)<br>石渡 豊 (公明)   |
| 少子・高齢福祉社会対策特別委員会<br>定数 13            | ◎ 白土 幸仁 (自民)<br>○ 木下 博信 (自民)                 | 岡村ゆり子 (県民) 山口 京子 (自民) 関根 信明 (自民) 橋詰 昌児 (公明) 石川 忠義 (県民)<br>小久保憲一 (自民) 水村 篤弘 (民主フォーラム) 柳下 礼子 (共産党) 長峰 宏芳 (自民) 西山 淳次 (公明)<br>木村 勇夫 (民主フォーラム)  |
| 経済・雇用対策特別委員会<br>定数 13<br>欠員 1        | ◎ 小川真一郎 (自民)<br>○ 宇田川幸夫 (自民)                 | 宮崎 吾一 (自民) 守屋 裕子 (共産党) 並木 正年 (県民) 岡 重夫 (県民) 細田 善則 (自民)<br>中野 英幸 (自民) 中屋敷慎一 (自民) 蒲生 徳明 (公明) 高木 真理 (民主フォーラム) 齊藤 正明 (自民)  |
| 危機管理・大規模災害対策特別委員会<br>定数 13           | ◎ 新井 一徳 (自民)<br>○ 安藤 友貴 (公明)                 | 深谷 顕史 (公明) 八子 朋弘 (県民) 杉田 茂実 (県民) 千葉 達也 (自民) 松井 弘 (自民)<br>町田 皇介 (民主フォーラム) 岡田 静佳 (自民) 永瀬 秀樹 (自民) 秋山 文和 (共産党) 梅澤 佳一 (自民)<br>小林 哲也 (自民)  |
| 人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会<br>定数 13<br>欠員 1 | ◎ 武内 政文 (自民)<br>○ 松澤 正 (自民)                  | 白根 大輔 (民主フォーラム) 中川 浩 (改革) 渡辺 大 (自民) 江原久美子 (県民) 美田 宗亮 (自民)<br>鈴木 正人 (県民) 立石 泰広 (自民) 塩野 正行 (公明) 諸井 真英 (自民) 宮崎栄治郎 (自民)  |
| 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会<br>定数 18         | ◎ 小島 信昭 (自民)<br>○ 本木 茂 (自民)                  | 金野 桃子 (県民) 岡村ゆり子 (県民) 深谷 顕史 (公明) 秋山 もえ (共産党) 千葉 達也 (自民)<br>辻 浩司 (民主フォーラム) 藤井 健志 (自民) 横川 雅也 (自民) 岡田 静佳 (自民) 石川 忠義 (県民)<br>荒木 裕介 (自民) 萩原 一寿 (公明) 水村 篤弘 (民主フォーラム) 須賀 敬史 (自民) 中屋敷慎一 (自民)<br>田村 琢実 (自民) |
| 図書室委員会<br>定数 14                      | ◎ 飯塚 俊彦 (自民)<br>○ 永瀬 秀樹 (自民)                 | 山口 京子 (自民) 白根 大輔 (民主フォーラム) 杉田 茂実 (県民) 高木 功介 (自民) 橋詰 昌児 (公明)<br>東間亜由子 (民主フォーラム) 前原かつえ (共産党) 岡 重夫 (県民) 白土 幸仁 (自民) 小川真一郎 (自民)<br>神尾 高善 (自民) 小島 信昭 (自民)  |

### 県議会クイズ

はがきに下記のようにご記入の上、6月7日(月) (当日消印有効)までにお送りください。正解者の中から抽選でプレゼントを差し上げます。当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。対象は、埼玉県内に在住・在勤・在学している方のみとなります。県議会ホームページからご応募いただけます。

1面をよーく読んでね!

Q OOに当てはまる言葉は何でしょう。  
令和3年2月定例会では、2月26日・3月1日の2日間、OO質問が行われました。

プレゼント 埼玉県議会 検索

図書カード 1,000円分 ...20名様

県議会ホームページからのご応募いただけます。

63 330-9301 埼玉県議会事務局 政策調査課

1.クイズの答え  
2.郵便番号  
3.住所  
4.通勤通学先の市町村名(県外にお住まいの方のみ)  
5.氏名・年齢  
6.埼玉県議会だよりに関するご意見

【個人情報の取り扱い】応募はがきは、抽選とプレゼントの発送以外の目的には使用いたしません。

### 電子書籍で議会だよりを閲覧いただけます

今ご覧の「埼玉県議会だより」は、埼玉県内の広報紙等を電子書籍で閲覧できる「ブックシェルフ埼玉」でもご覧いただけます。パソコンやスマートフォン等から見やすく拡大したり、キーワードを検索するなど電子書籍ならではの便利な機能をお使いいただけますので、ぜひご活用ください。

※ブックシェルフ埼玉への最新号掲載は、発行日より遅れることがあるのでご了承ください。